

茨城民報

発行所
日本共産党
茨城県委員会
〒310-0804
水戸市白梅3丁目13-8
☎ 029(353)8290
定価 150円

日本共産党
茨城県委員会の
ホームページ
<http://ibjcp.gr.jp>
e-mail
jcp@ibjcp.gr.jp



日本共産党

30キロ圏内には
約94万人が居住

3月18日水戸地裁判決

東海第2原発 運転差し止め訴訟 原告住民側「勝訴」



海側上空から見た東海第2原発 しんぶん「赤旗」チャーター機から撮影

避難計画は実現不可能

日本原子力発電の東海第2原発の運転差し止めを命じる判決が3月18日、水戸地裁で出されました。判決は、原発事故が起きた際、「実現可能な避難計画が整えられている」というには「ほど遠い」と指摘し、半径30キロ圏内の原告79名について請求を認めました。

人格権侵害の危険を指摘

住民の安全を置き去りにした早期再稼働の企てに司法が「待った」をかけたことは画期的です。

判決が重視したのは、住民を守る最後の手段である避難計画についてです。原子力災害は、地震や津波などの自然災害に伴う発生が想定されなければならず、「人口密集地帯の避難は容易でない」と述べ、実効的な避難計画の策定が担保できるといふことに疑問を示しました。

東海第2では、避難計画の策定を義務付けられている県と30キロ圏内の14自治体のうち、「策定済み」とされているのは比較的人口の少ない5自治体（常陸太田市、常陸大宮市、笠間市、鉾田市、大子町）にとどまっています。判決では、避難人口27万人余を抱える水戸市などで計画がない上、「策定済み」の5自治体の計画でも大規模地震時の住宅損壊や道路寸断が想定されておらず、複数の避難経路も設定されていないことなどを問題視しました。

避難が極めて困難である現実を具体的に検証して「安全性に欠ける」と明確に認定し、人格権侵害の危険があると結論付けた判決は、住民の願いに沿ったものです。

原子力規制委員会の新規制基準で、避難計画は審査の対象になっていません。避難対策は自治体任せで無責任です。

判決は、原発事故対策で「一つでも失敗すれば、事故が進展、拡大し、

今後も続く裁判とともに 政治革新を

「安全神話」を復活させ、無謀な原発再稼働路線を加速させる菅政権の責任は重大です。原発ゼロの道に踏み出す政治に転換するところが急務です。

多数の周辺住民の生命、身体に重大かつ深刻な被害を与えることになりかねず、他の科学技術の利用に伴う事故とは質的にも異なる特性がある」と指摘しました。また、原発事故の要因となる自然災害の予測は確実に行えず、「原子炉施設から放射性物質が周辺の環境に絶対に放出されることのない『絶対的安全性』を確保することは、現在の科学技術水準をもってしても、達成することは困難」と警告しました。

2021年3月

日本共産党茨城県委員会

える署名が集まり、「金曜行動」が続けられています。こうした県民の声が、今回の判決に響いたことは間違いありません。

今後続く裁判でのたたかいに連帯し、「廃炉」を求める県民世論をさらに強く大きくするために党の役割を発揮しましょう。

今年の夏には知事選挙と東海村長選挙が行われます。きたるべき総選挙とともに、「原発ゼロ」を実現する地方政治と国政をめざして力を尽くします。



3月19日付けの各紙

東海第2原発を
再稼働させる道理は
いよいよありません。
住民の声にこたえ、
廃炉にすべきです。

日本共産党

判決文については
日本共産党茨城県委員会
お問い合わせください。



コロナ危機のりこえ新しい政治を

インターネット

YouTube

で見られます。

書記局長
参院議員

小池晃



日本共産党 北関東ブロック

オンライン演説会

5月2日 午後2時

主催 日本共産党北関東ブロック 事務所 ☎048-649-0409

ご支援ありがとうございました。

北茨城市議選・3月21日投開票 鈴木やす子候補 7期目 10位当選



鈴木やす子

21日投開票で定数19立候補21、2人オーバーの少数激戦でたたかわれた北茨城市議選。7期目をめざした鈴木やす子候補は、10位(前回8位)、得票863票(前回1028票)で当選することができました。ご支援ありがとうございました。公約実現へ、市民のみなさんと力をあわせて全力をつくしてまいります。引き続きよろしくお祈りします。

4月4日告示
11日投票

筑西市議補選でも必勝を 欠員3、立候補予定4の少数激戦



国府田きくお

- 1946年生まれ
- 下館一高卒
- 日本コンクリート工業(株)勤務
- 全労連・全国一般労組県初代執行委員長

今回市長選と同時に市議補選が行われます。欠員3での争いです。

「コロナで暮らしが大変」、「もっと温かい市政にしてほしい」と期待の声が寄せられます。国府田氏は、立候補にあたり「困っている人をほっとかな

い政治に全力」と元気に決意を述べています。

故鈴木さとしさんの議席を必ず回復し、3名の議員団を確立する選挙です。

総選挙勝利と一体に、全県あがりの取り組みで勝利しましょう。

利根川は、関東平野にある日本一流域面積6,840km²の大きな川です。坂東太郎(ばんどうたろう)とよばれてきました。群馬県の山に源を発し、銚子市の河口で太平洋につながっています。



取手市緑地公園駐車場前(船着き場)

「小堀(おおほり)の渡し」は、茨城県取手市内を結ぶ取手市営の渡船(とせん)(渡し舟・渡し船)です。利根川をはさみ、市内中心部と小堀(おおほり)地区を結び運航しています。



小堀(おおほり)の渡し「とりで号」

記事および「とりで号」の写真は取手市ホームページより

シリーズ
わが町の
自慢ばなし

利根川
小堀の渡し